

株式会社 ファンケル

Communication on Progress

2017 年度

対象期間: 2017 年 4 月～2018 年 3 月

担当者連絡先

株式会社ファンケル CSR 推進室 小倉 悦子

E-mail etogura@fancl.co.jp

Tel 045-226-1943 Fax 045-226-1203

ファンケルは創業以来、世の中の「不」のつく事柄の解消を目指し、常に実直な経営のもと、高い透明性をもって、化粧品やサプリメントなど、「美と健康」に関連する製品やサービスを提供しております。

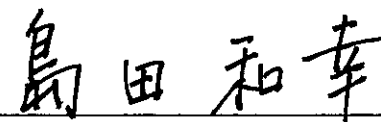
2017 年度は、特に「労働慣行」、「人権」、「環境」の取り組みに注力し、外部より高い評価を受けた年度でした。

「労働慣行」では、経済産業省の「健康経営優良法人ホワイト 500」企業に認定される等、様々な取り組みを実施しました。具体的には、「働き方改革」を推進するため「健康経営宣言」を制定し、「在宅勤務の本格展開」や「有給休暇取得の推進」、「メンタルケア対策」、「店舗スタッフの地域限定正社員化」などを実施、人事理念である「従業員が夢を持って働ける会社」の実現に向け邁進いたしました。

「人権」では、「ダイバーシティ経営」推進のため、「みんな違ってあたりまえ」というスローガンを策定し、異なる価値観や考え方を持つ、多様な人材が個性や能力を発揮し、新しい価値を生み出し続けることを、社内外に広くアピールしました。特に高齢化社会に対応し、一生働ける職場づくりを目指し、65 歳以上でも勤務できる「アクティブシニア社員」を新設しました。また社会に向けては、障がいを持つ方の自立支援として、「メイクセミナー」「身だしなみセミナー」等を年間 154 回実施、その活動が評価され「神奈川県バリアフリー街づくり賞」ソフト部門を受賞しています。

「環境」では、グループの各事業所の設備、機器類のネットワーク構築を行い、「電気の見える化」を実現、環境情報を一括して把握し、大幅な省エネとコスト削減に成功し、「省エネ大賞(省エネ事例部門)」省エネルギーセンター会長賞を受賞しました。また「低炭素杯 2018」の優秀賞、「環境コミュニケーション大賞」優良賞、「横浜市食の 3R キラ星活動賞」等、環境活動において、高い評価をいただきました。

ファンケルは、国連が提唱している「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、2017 年度は、お取引先様に「CSR 調達」の方針も発信いたしました。今後もステークホルダーと共に、世界のために、グローバルな広い視野で、「もっと何かできるはず」の経営理念を念頭に活動してまいります。



島田 和幸(Kazuyuki Shimada)

代表取締役 社長執行役員 CEO
(President and Representative Director)

2018 年 3 月 31 日

「人権」に関する活動報告

本年度の活動内容		結果及び評価	来年度の活動目標
(1) 社内の 制度・しくみ	1 <div>■新入社員に人権研修実施 ・日時:4月13日 9:30~16:00 ・会場:本社4階第1会議室 ・対象:新入社員 40名 ・テーマ:新入社員研修 ・内容:①国連グローバル・コンパクト 概要説明 ②グループワーク: 業務担当ごとの人権問題を 挙げ、解決策を発表 ・講師:①グローバル・コンパクト・ ジャパン事務局長 大田 圭介氏 ②CSR推進室</div>	<div>・社会人としての責任、 心構えなどの人間形成に非常に効果的な研修と して、教育担当部門からも高評価。</div> <div>・人権問題が身近な課題であることを認識し、 人権を意識した商品づくり、サービスに取り組む ことを学んだ。</div>	<div>【2018年度研修実施予定】 日時:2018年4月16日 10:00~16:30 場所:本社研修室</div> <div>新入社員48名を対象に、 「横浜市職員」を講師に迎え 「SDGS基本セミナー」を 実施</div>
(2)障がい者支援及び その他の 「社会貢献活動」 (イベント)	1 <div>■社会福祉法人 訪問の家 ①「訪問の家 第8回愛・ひかりフェス タ」(バザー) ・日時:10月29日(日) ・会場:訪問の家</div>	<div>①バザー ■来場者:550名 ■売上:¥836,446 ■従業員ボランティア(準備含む)107名 ■提供したバザー品:1,130点</div> <div>当日は、あいにくの台風でお客様も昨年の半数とな ったが、2017年度の新入社員38名全員が参加し、 イベントを盛り上げた。バザーによる売り上げは、全 て「訪問の家」に寄付。</div>	継続

(2)障がい者支援及び その他の 「社会貢献活動」 (イベント)		<p>② 第28回「訪問の家 お食事会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:12月8日(金)12:00～14:30 ・会場:飯島ビル 社員食堂 ・テーマ:「～みんながオハナ!! (OHANA)大きな家族 南の島のクリスマス～」 <p>重度障がい者福祉施設「訪問の家」の支援活動から始まった活動が、代々の経営者に引き継がれ、従業員が積極的に参加できる風土、理念となって発展した社会貢献活動</p>	<p>②お食事会</p> <ul style="list-style-type: none"> ■訪問の家ご招待客:42名 ■従業員ボランティア名参加:41名 ■グループ全部署からのクリスマスカード贈呈:370枚(100%の回収率) <p>「訪問の家」の通所者、そのご家族、スタッフを、社屋にご招待し、おもてなしする恒例イベント。ボランティアスタッフによるフラダンスのレクチャー後に全員で踊るなど、テーマ通りの大きな家族になれた1日だった。</p>	
	2	<p>■ファンケルセミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象:障がい者/高齢者施設利用者 ・講師:従業員 <p>※CSR推進室が講師役の従業員へ継続実施</p>	<p>【2017年度セミナー実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■実施総回数:154回 (内訳) ・メイクセミナー:43回 ・視覚障がい者向けメイクセミナー:18回 ・身だしなみセミナー(特別支援学校・就労支援所)73回 ・健康セミナー:3回 ・ハンド・ネイル・メイクサービス:15回 ・外部イベント:2回 ■従業員参加人数:203名 	継続
	3	<p>■アダプテッドエアロビクス大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:3月18日 ・会場:障がい者スポーツ文化センター 横浜ラポール 	<ul style="list-style-type: none"> ■大会参加人数実績:16団体 261名 ■ファンケルは、会場でハンドエステコーナー(従業員3名)を設け、無料実施。参加者のご家族に大変お喜びいただいた。体験人数:59名 	継続

(2)障がい者支援及び
その他の
「社会貢献活動」
(イベント)

4

- グローバルフェスタ ブース出展
- ・日時:9月30日、10月1日
 - ・会場:お台場センタープロムナード
(シンボルプロムナード公園内)

■来場者総数:約15万人(2日間合計)
・「ファンケル キッズベースボール」の活動をパネル
で紹介

SDGsを学ぶゼミの学生が多く、ファンケルの取組を
知らせる良いチャンスとなった

出展予定

5

- ファンケル キッズベースボール
①子ども野球教室)の開催
- ・目的:用具不足に悩む国々に、バット、
グローブ、ボールなどを寄贈
日本の子どもたちに、使わなくな
った野球用具を、教室参加の
際、持参していただいて回収
 - ・会場:右記一覧参照
 - ・講師:元プロ野球選手
 - ・主催:報知新聞社
 - ・特別協賛:(株)ファンケル

【2017 年度実績】

開催日	開催地と教室参加人数
5月27日(土)	広島県東広島市 東広島アクアスタジアム 554名(参加者:343名、見学者:211名) 用具回収:727点
7月1日(土)	宮城県柴田郡 柴田球場 714名(参加者:472名、見学者:242名) 用具回収:475点
7月2日(日)	宮城県 亘理郡 亘理町吉田体育館 (参加者:148名 56組) 用具回収:なし
7月8日(土)	北海道函館市 オーシャンスタジアム 740名(参加者:500名、見学者:240名) 用具回収:310点
9月23日(土)	京都府京都市 殿田公園野球場 588名(参加者:462名、見学者:126名) 用具回収:724点
合計	来場実績:2,744名 用具回収:2,476点

(2)障がい者支援及び
その他の
「社会貢献活動」
(イベント)

		・寄贈国と寄贈点数 8 か国 1,393 点 インドネシア 335/スリランカ 70/コスタリカ 40/ボリビア 295/グアテマラ 78/ウガンダ 10/ペルー550/ 日本 15	
	② ペルー日系人協会設立100周年 記念「JICA野球教室」に運営で協力		
	日時:11 月 19 日 主催:国際協力機構(JICA) ペルー日系人協会(APJ) ラ・ウニオン総合運動場(AELU) 協力:ファンケルキッズベースボール 会場:ペルー共和国リマ市 AELU 球場 目的:野球の普及活動及び JICA 活動の 視察 (防災啓発センター)を 行い、日本で、JICA および、 野球教室のPRを行う 講師 5 名 ・原 辰徳氏(読売巨人軍前監督) ・久保 文雄氏(ベイスターズ OB) ・駒田 徳広氏(読売巨人軍 OB) ・宮本 和知氏(読売巨人軍 OB) ・西山 秀二氏(広島カープ OB)	パブリシティ掲載紙名、番組名	
		日本テレビ 「ズームイン!! サタデー」(毎週土曜、5時30分~8時) 宮本和知氏コーナー 12月2日(土) 7時40分前後から5分放映予定	
		BS 日テレ 年末特別番組「日本とペルーをつなぐ日本の絆」 12月29日(金)18時~18時55分 放映	
		テレビ 神奈川 ①12月6日(水)21時30分から5分間特別枠 「国境を越えたキッズの笑顔」 ②「NEWS ハーパー」(月~金、18時~18時30分) 2回放映/JICA 活動・横浜とペルーの関係 ③特別番組「あすの地球と子どもたち」 (2018年3月放映)	
		報知新聞社 11月20日「スポーツ報知」(本紙/WEB版)掲載	
		神奈川新聞社 ①11月21日(火) ペルー野球教室開催の記事 ① 12月12日(火) ペルー野球教室「特集記事」	

海外での活動は
依頼があった場合
適宜検討

(2)障がい者支援及び その他の 「社会貢献活動」 (イベント)			2017 年は、ペルーでも野球教室を開催し、現地の 日系ペルーのみなさまにも大変喜ばれた。	
	6	■「ともに生きる社会かながわ憲章」 企業として初の応援宣言 ・ニュースリリース発表:7 月 19 日	神奈川県が 2016 年 10 月に、障がい者への偏見な どを排除するために制定した「ともに生きる社会かな がわ憲章」の趣旨に賛同し、民間企業として初めて 神奈川県の取り組みを応援する旨の宣言を行った。	障がいのある方の自立支援 を促進
	7	■児童養護施設の学生を、ファンケル ショップにて研修 ・日時:8 月 1 日、2 日	NPO 法人からの依頼を受け、毎年、児童養護施設 の学生に本社ビル 1 階のファンケルショップでの店 舗研修を実施。 店舗スタッフの制服を着用し、接客マナー、メイクサ ービス等の検収を受ける社会に出てからの自立を 支援している	依頼があれば、継続実施
(3)寄付活動	1	■もっと何かできるはず基金 ①寄付活動 2007 年 6 月に設立。従業員が働きなが らでも参加しやすい社会貢献を目的とし て基金に登録している従業員の給料か ら天引を行う。1 口 100 円～100 口 1 万 円まで可。寄付先は、基金に登録してい る従業員からの申請依頼を受けて運営 委員会で審査を行い、マッチングギフト の要求があれば、会社から同金額を加 算し、社会支援を目的とした寄付に役立 てている。	■「もっと何かできるはず」基金寄付 寄付件数:28 件 寄付金額: ¥ 6,100,000 (マッチングギフト含む)	継続

(3)寄付活動

2	<p>②もっと何かできるはず基金から災害支援として九州北部豪雨に寄付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:7月20日 ・寄付先:「日本赤十字社 2017 年 7 月 5 日からの大雨災害義援金」 	<p>■寄付金:500,000 円</p>	災害が発生した場合 適宜検討
	<p>③ もっと何かできるはず基金の寄付先による講演、聴導犬デモンストレーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:10月13日/ 2月8日 ・会場:本社9階 / 総合研究所 ・協力:一般社団法人 日本聴導犬推進協会 ・講師:秋葉 圭太郎氏 ・ゲスト:聴導犬ジロー 	<p>■参加人数:80 名</p> <p>盲導犬と違い、認知度の低い聴導犬の普及活動を知る機会として、社内講演会を開催。耳の不自由な人の生活と聴導犬の活躍を実際に目にして、参加者はその賢さと健気さに感心しきりだった。</p>	様々な寄付先紹介を実施
	<p>■第17回ファンケルクラシック『ファンケル クラシック基金』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:8月18日～20日 	<p>開催中に集めたチャリティ募金</p> <p>■寄付金: 3,036,622 円</p> <p>■寄付先: ・静岡県裾野市 ・社旗福祉法人 訪問の家 ・国連 WFP</p> <p>※『ファンケル クラシック基金』とは PGA シニアツアー「ファンケルクラシック」は、「シニアの元気が日本の元気!!」をスローガンに、静岡県裾野市の裾野カントリー倶楽部で、2001 年より開催。同大会では、第 1 回大会より収益金の一部を大会開催地である裾野市に寄付してきたが、社会・地域の皆さまへの貢献活動をさらに充実させるために、2007 年に『ファンケル クラシック基金』を設立。現在に至る。</p>	

<div data-bbox="112 76 385 199">(3)寄付活動</div>			※寄付先は「運営委員」の競技で決定 『ファンケル クラシック基金』運営委員 ・高橋 勝成氏(プロゴルファー) ・二宮 清純氏(評論家・スポーツジャーナリスト) ・池森 賢二(株式会社ファンケル 代表取締役 会長執行役員 ファウンダー・ファンケル クラシック 大会会長)	
<div data-bbox="47 391 389 539">(4)人権週間 12 月</div>	1	<div data-bbox="477 400 987 488"> ■ダイバーシティ推進スローガン 「みんな違ってあたりまえ」社内告知 </div> <div data-bbox="477 499 889 587"> ・期間:12 月 4 日～10 日 ・方法:本社複合機画面に掲載 </div>	ファンケルは、今年度から HP に人権スローガンを発表。社内にも啓発として複合機を利用して掲載。社内 で周知した。	人権啓発の取組みを推進
	2	<div data-bbox="477 643 754 683">■人権ビデオ放映会</div> <div data-bbox="477 694 1010 826"> ・日時:12 月 4 日～7 日/ 2 月 8 日～9 日 ・会場:本社 4 階会議室 / 総合研究所 ・ビデオ協力:横浜市市民局 </div>	<div data-bbox="1039 643 1686 683">■参加人数:本社合計 30 名/ 総合研究所 40 名</div> <p>人権週間である 12 月 4 日～10 日に、啓発活動として、人権に関するドラマ放映を実施。 本社では、昼休みの 11:30～14:00 まで 3 回に分けて、自由に入退社ができるように設定するなど、気軽に参加できるように工夫。 アンケートは、人事部に情報共有をした。</p> <div data-bbox="1137 1074 1547 1106">【総合研究所所での放映ビデオ例】</div> <div data-bbox="1039 1137 1621 1313"> <div data-bbox="1039 1137 1621 1217"> A:職場の日常から考えるパワーハラスメント(28 分) 制作:東映(株) </div> <div data-bbox="1039 1233 1189 1265">【エピソード】</div> <div data-bbox="1039 1281 1366 1313">①パワハラ生まれるところ</div> </div>	人権啓発の取組みを推進

<div>(4)人権週間 12月</div>			②見えない・気づかないパワハラ ③誰もがパワーを持っている ④パワハラのない職場を目指して B:「心とケアと人権」 職場編(22分) 制作:東映(株) 【ストーリー】 中堅サラリーマンの佐伯は、配置転換後にストレスと仕事の過重により欠勤がちとなる。服装も乱れ、表情も暗くなり、業務の効率も悪くなり…その時、職場メンバーは…	
	3	■認知症と向き合う ビデオ放映会 ・日時会場:本社 2月5日 / 3月19日 飯島ビル 3月14日 ・ビデオ協力:横浜市中区役所 高齢・障がい支援課	■参加人数:本社 31名 飯島ビル 41名 年々、働きながら介護をする従業員も増え、家族との関わり合いなどからストレスを抱える従業員のための時間を設けた。さまざまな立場の従業員が同じ悩みを抱える者同士話すことで、今後の参考になったと好評だった。	人権啓発の取組みを推進
	1	■路上生活者の方たちなど生活困窮状態の方の支援団体への協力 公益財団法人 横浜市寿生活館(横浜市中区) 支援月:6月	■寄贈品:男性用冬物衣類各種 大型ダンボール 5箱	支援団体のニーズに合わせて対応
<div>(5)社会の貧困対策</div>				

(6)表彰	1	<p>■第10回神奈川県バリアフリー街づくり 賞受賞（ソフト部門）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表彰式:2月6日 ・会場:神奈川県庁新庁舎5階会議室 	<p>■受賞内容</p> <p>触れることで商品の区別ができる独自のシールの開発や、視覚障がい者向けにメイクセミナーを開催するなど視覚障がい者の社会参加に貢献</p>	<p>障がいのある方の自立支援を推進</p>

「労働基準」に関する活動報告

本年度の活動内容		結果及び評価	来年度の活動目標	
(1) ワークライフ バランス 施策、イベント	1	■新雇用区分「アクティブシニア社員」設置 シニアの活躍を応援 一生涯輝ける職場づくりを推進 ・ニュースリリース発表 4 月 10 日	4 月から、65 歳で雇用契約が終了するこれまでの制度を改め、65 歳以上でも勤務できる新たな雇用区分「アクティブシニア社員」を設立勤務日数や時間は、会社が本人の希望を勘案して決定するため、各自のペースで柔軟に働くことが可能となった。定年年齢ではなく原則本人の元気とやる気が続く限り働くことができる制度。	働き方改革を推進
	2	■月・水・金曜日は、 NO 残業デー実施	・平均月間時間外労働時間(1 人あたり): 7.53 時間(前年度 7.67 時間)	残業の削減を推進
	3	■ファミリーデー ・日時:8 月 25 日(金) 10 時～14 時 30 分 ・場所:ファンケル本社ビル	■参加家族 12家族37名(大人19名、子供18名) 従業員を支える家族に、職場・仕事への理解を深めてもらうとともに、周囲の従業員も、同僚の家族との交流を通じて、お互いを深く理解し、働きやすい職場の雰囲気づくりが出来た。従業員モチベーション UP・家族とのコミュニケーション UP につながった。 従業員の家族がファンケルへの理解を深め、ファンケルの理念・商品・サービスをより好きになることで、ブランド価値向上につながった。	7 月 25 日実施予定

(2) ワークライフ
バランス
施策、イベント

4	<p>■「健康経営宣言」を制定 働き方改革を具体的に推進</p> <p>・ニュースリリース発表:8月1日</p>	<p>従業員が美しく健やかにいきいきと働くため、当社グループの「健康経営宣言」を制定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅勤務の本格展開 ・有給休暇取得の奨励 ・メンタルケア対策 <p>などを行い、健康経営をさらに進めることで「従業員が夢を持って働ける会社」を実現していく。</p>	<p>①働き方改革②休み方改革③心の健康対策④身体の健康対策の4つのカテゴリーで、従業員のワークライフバランスを向上させる。</p>
	<p>■店舗スタッフ向け雇用区分 「地域限定正社員」を新設</p> <p>・ニュースリリース発表:1月10日</p>	<p>2018年4月に、店舗での契約社員の雇用区分を廃止し、新たに「地域限定正社員」を設けた。これにより全国の直営店舗で働く契約社員全員(971名/2017年12月末時点)を同雇用区分へと切り替えた。</p> <p>「地域限定社員」は、原則転居を伴う異動がないため、担当する地域で安定して働くことができる。直営店舗で契約社員として勤務する店舗スタッフが新しい雇用区分に切り替わることで、雇用期間が有期から無期になるほか、賞与のルールの改訂や休日日数が増加するなど処遇が改善された。</p>	<p>今後も人事制度を充実させるとともに、お客さまに満足していただける店舗作りを進めていく。</p>
	<p>■リフレッシュ休暇の導入</p> <p>・開始:2017年8月～</p>	<p>ワークライフバランスの推進の一環として、従業員の有休取得率の向上を目指し、組織を通じて取得を促進する活動</p>	<p>継続実施</p>

(2)従業員の
健康を守る

1

■「ファンケル学べる健康レストラン」神奈川県ME-BYO BRAND 認定

・ニュースリリース発表:1月10日

※レストランは、2017年8月ファンケル本社1階に社員食堂としてオープン

当社の社員食堂「ファンケル学べる健康レストラン」と「ファンケル健康メニュー」が9月6日、神奈川県が未病の改善などに資する優れた商品やサービスを認定する制度「ME-BYO BRAND」に認められた。レストランやメニューが同ブランドに認定されたのは初めて。

「ファンケル学べる健康レストラン」と「ファンケル健康メニュー」は、健康的でおいしく満足のある

「ファンケル学べる健康レストラン」と「ファンケル健康メニュー」は、健康的でおいしく満足のある食事と、健康意識が自然に身に付き、未病を改善することをコンセプトとしたサービス。

【レストランの特長】

・塩分2g前後 ・適正カロリー ・脂質コントロール ・野菜量120g以上 ・食物繊維6g以上 ・抗酸化力の高い青汁使用 ・肥満になりにくい発芽米使用 ・栄養バランス という8つのこだわりを持ったメニューで、健康維持、未病改善効果が期待できる。さらにスマートフォンによる食生活診断や料理教室などによって、体験を通して健康づくりにつながる気づきや学びの場を提供。

健康レストランとメニューなどを健康経営を目指す企業や自治体に提案して、神奈川県が進める未病の改善に積極的に寄与する。

(3)表彰

	1	<p>■第11回かながわ子ども・子育て支援大賞奨励賞受賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表彰式:11月26日 ・会場:横浜ワークピア ・主催:神奈川県 	<p>■受賞内容</p> <p>特別支援学校に通う障がいのある学生に身だしなみやメイクを教える「ファンケルセミナー」が、子ども・子育て支援活動のモデルとなる活動として評価された。</p>	「ファンケルセミナー」を継続
	2	<p>■「日経スマートワーク大賞2018」特別賞受賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表彰式:2月22日 ・会場:帝国ホテル東京 ・主催:日本経済新聞社 <p>・ニュースリリース発表:2月23日</p>	<p>■受賞内容</p> <p>ファンケルは、雇用形態の転換や継続雇用の年齢上限撤廃などの人材活用力を高めるための取り組みや、女性の活躍推進の実績が評価された。</p>	働きやすい職場づくりを継続

「環境」に関する活動報告

(1)環境啓発教育

本年度の活動内容

結果及び評価

来年度の活動目標

1

■入店前研修で環境啓発

- ・日時:4月3日、4月24日
- ・場所:ファンケル葉山研修所、本社4階会議室
- ・テーマ:ファンケルのCSR活動
- ・内容:環境活動を中心に、CSR基礎研修
- ・講師:CSR推進室
- ・対象:新人店舗スタッフ

■参加人数:各60名

CSRの言葉の意味や活動から、会社の理念をより深く理解し、環境への興味を持つ機会となったと教育部門から好評価

継続

2

■新入社員環境研修

- ・日時:5月1日
- ・場所:道志の森
- ・対象:新入社員40名
- ・内容:生物多様性座学及び道志村水源林にて体験作業
- ・講師:横浜市水道局浄水部水源林管理所 所長 温井 浩徳氏

新入社員の環境の理解を高め、日々の業務へ活かせる基礎づくりに貢献

【2018年度研修予定】
日程:5月18日
27期生(2018年度入社)新入社員47名の環境研修を実施予定

3

■ゴミ資源分別研修

- ・日時:7月19日～2018年2月16日
10:00～12:00(右記一覧参照)
- ・場所:ファンケル本社地下2階駐車場
- ・対象:全フロア課長
- ・講師:総務部営繕グループ/CSR推進室

■参加人数:127名

■資源化率:82%

資源化率:85%目標

(1)環境啓発教育	4	<p>■エコオフィスをめざして ゴミ分別進捗報告を社内で発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:12月20日 ・担当:総務部営繕グループ/CSR推進室 	<p>ファンケルビル資源化率目標 80%に対しての検証報告を社内イントラネットで発表</p>	<p>資源化率目標:85%</p>
	5	<p>■役員向け「サステナブルセミナー」実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:2月13日 ・場所:ファンケル本社9階会議室 ・対象:経営層 ・講師:社内監査役員 	<p>■参加人数:役員30名</p> <p>ファンケルが、100年企業として、生き残るための原料調達の理解につながった</p>	<p>役員向け:1回 従業員向け:3回 実施予定</p>
	6	<p>■「家庭でエコプログラム」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主旨:従業員が、家庭でCO2排出量を削減する取り組み ・施策:半年に1度、総務省発表の家族人数別数値を下回れば達成とし、従業員ひとりにつき¥4,000の褒賞金を贈り、家族には、ひとり増えるごとに¥2,000の褒賞金を加算する。また、アイデア賞を達成者の中から5名選出し、各¥10,000を贈る。 <p>※今年度から、昨年度より5%引き下げた達成基準とし、CO2削減率目標を上げた。</p>	<p>■2016年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量削減に成功した従業員数は617人 ・CO2排出削減量:298.6トン <p>※2017年度は集計中</p>	<p>継続</p>

(2)環境 PR 活動 イベント	1	<p>■コミュニティサイト会員お客さま向け 「千葉工場見学ツアー」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:7月7日 10:00~15:00 ・場所:ファンケル千葉工場(千葉県流れ山市) ・目的:ファンケルを、より知っていただくことでのファン拡大 ・関連部署:通販営業本部コミュニティ推進グループ、千葉工場管理部門、CSR推進室 	<p>■参加人数:15組 30名</p> <p>製品の品質に対するお客様の信頼を高めファン化につながった。</p> <p>千葉工場見学ツアー実施後、コミュニティサイトで参加者の声を発信し、取り組みを広く伝えた。</p>	2018年11月に実施予定
	2	<p>■横浜市水道局主催 打ち水イベント 「YOKOHAMA Save The Water2017」参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:7月17日 / 8月1日 ・場所:横浜中華街媽祖廟 / 馬車道アイランドタワー ・内容:横浜市の防災備蓄水(消費期限切れ)を使用し、日本古来の「打ち水」による体感温度を下げる体験を通して、地球温暖化などの環境問題を考える機会とする。 	<p>■参加者:CSR推進室、社内ボランティア全10名</p> <p>横浜市民を対象に「水」をテーマに開催され、打ち水後の路面の冷却につながり、環境保全の大切さを再認識する機会となった。今年も市民だけでなく観光客も巻き込んだイベントとなった。</p>	継続
	3	<p>■ファンケルクラシック「エコ活動」イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:8月17~20日 3日間 ・場所:裾野カンツリー倶楽部 ・内容:ゴミ分別の徹底、クラブハウス内をはじめ会場各所で節電実施などの実施によりCO₂排出削減に貢献 	<p>■来場者数:20,877名</p> <p>■ボランティア参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元スタッフ 700名 ・ファンケルグループ従業員 600名 <p>■電気使用量:14,184kwh (8月15~20日の5日間 大会準備期間含む)</p>	継続

(2)環境 PR 活動
イベント

※ 大会で使用する電力は、2010 年以降、
中国内モンゴルの電力でカーボンオフ
セット

■排出 CO2 量

利用したもの	排出 CO2t
ファンケルクラシック会場	7.09
従業員移動(電車)	0.13
従業員移動(バス・タクシー)	1.18
従業員移動(自家用車・レンタカー)	0.26
お客様用シャトルバス	6.20
使用実績	14.86

*CO2 算出の際の係数は東京電力の係数を使用

4

■グローバル・コンパクト 日中韓ラウンド
テーブル 銀座スクエア 見学ツアー

- ・日時:8 月 23 日
- ・場所:ファンケル 銀座スクエア
- ・目的:ファンケルの企業活動講義を含む
店内視察
- ・主催:グローバル・コンパクト・ネットワーク・
ジャパン事務局
- ・協力:CSR 推進室、銀座スクエア

■参加者:日本、中国、韓国の学生 27 名

グローバル・コンパクト 日中韓ラウンドテ
ーブルで SDGs を学んだ学生を対象に、日
本事務局からの依頼で、ファンケル独自
の環境活動などを中心に講義をし、旗艦
店である銀座スクエアで、最新の健康シス
テムによる体験実施。

世界の次世代を担う学生へ、企業姿勢を
示すことができた。

案内する従業員のグローバル・コンパクト
の理解促進につながった。

依頼された場合は、積極的に
応じる

(2)環境 PR 活動
イベント

5	<p>■「世界食料デー」月間 2017 キックオフ シンポジウム in 横浜 考えよう！「食べること」「捨てること」 ～いま、私たちにできることは？～ のイベントで、ファンケルの取組み紹介</p> <p>・日時:10 月 1 日 12:30～15:30 ・会場:はまぎんホール「ヴィアマーレ」 ・共催:「世界食料デー」2017 横浜市資源循環局 ・後援:環境省/農林水産省/消費者庁/神奈 川県</p>	<p>■内容:ファンケルの「食品ロス削減 活動」</p> <p>① 社内食堂の取り組み ② 青汁ケールの搾りかすの 有効利用など</p> <p>「食品ロス」の取り組みを地域に 広く発信することが出来、イメージ アップにもつながった</p>	食品ロスの取り組み推進
6	<p>■容器包装ダイエツ宣言キャンペーンに 参画</p> <p>・期間:10 月 1 日～11 月 15 日 ・主催:九都県市首脳会議廃棄物問題検討 委員会 ※九都県市とは、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、 横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市の、 首都圏の九つの自治体</p>	<p>参加企業の環境活動をポスター、ちらしで 紹介し、アンケート回答の景品として商品 をプレゼントする、「環境キャンペーン」に 参画。 新規の方への企業認知につながった。</p>	継続
7	<p>■「株主総会」の電気をオフセット</p> <p>・日時:6 月 17 日 ・場所:横浜アリーナ ・内容:株主総会内で使用する全電力を山 梨県道志村からの CO2 吸収認証のカーボ ンオフセットで相殺</p>	<p>■来場者数:6,112 名 (株主様 5,574 名 ご同伴者様:538 名) ■電気使用量:44,680kwh (6/16-18 の 3 日間) ■排出 CO2t:21.7t</p> <p>会場では、横浜市水道局協力の下、横浜 市水源林道志村での環境保全活動紹介 し、間伐材のヒノキチップを株主さまに自 由にお持ち帰りいただいた。 ※【腐敗防止】活動の株主総会もご参照ください。</p>	毎年、カーボンオフセットを実施 次年度は、2018 年 6 月 23 日に 実施予定

(2)環境 PR 活動 イベント	8	■美しい港町横濱をつくる会 清掃活動 ①中区クリーンアップ DAY2017 ・日時:5月20日 ・主催:NPO 法人美しい港町横濱をつくる会 ※「美しい港町横濱をつくる会」は、横浜市が世界に誇れる美しい港町がある都市環境をつくることを目的に、2010年に志を持った企業が中心となって設立した団体	■参加従業員:CSR 推進室メンバーを中心に12名 地域のクリーンアップで地域貢献につな った	清掃イベント3回参加、その他 月1回の本社ビル周辺の清掃 を実施
		② 第14回一斉清掃活動 ・日時:11月11日 ・主催:NPO 法人美しい港町横濱をつくる会	■参加従業員:CSR 推進室メンバーを中心に9名 近隣の企業ボランティア700名による一斉 清掃実施	
(3)大学での 環境活動・講義	1	■横浜国立大学 ・日時:5月10日 ・場所:横浜国立大学 常盤台キャンパス ・受講者:「経営学」でCSRを学ぶ学生 140名 ・講師:CSR 推進室	学生の環境教育に貢献。学生に向けて会 社紹介ができ採用につながった。	依頼があった場合には積極的 に対応
	2	■横浜市立大学 ・日時:2017年12月14日14:30~16:00 ・場所:金沢キャンパス ・主催:横浜グリーン購入ネットワーク ・講師:CSR 推進室	■受講者:CSR 活動、自治体の環境政 策、まちづくり、海外協力を学 ぶ30名 学生の教育に貢献でき、採用活動につな がる	依頼された場合は、積極的に 応じる

(3)大学での 環境活動・講義	3	<p>■帝京平成大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:3月8日 10:00~11:30 ・場所:本社4階会議室 ・内容:ファンケルのCSR活動 	<p>■受講者:中野キャンパス現代ライフ学科 経営マネジメント学科 小方 信幸教授と12名の学生</p> <p>本社でファンケルの環境を中心としたCSR活動の講義を実施し、飯島ビル(旧ファンケル本社)で、資料室及び特例子会社ファンケルスマイル見学</p> <p>学生の教育に貢献でき、採用活動につながる</p>	依頼された場合は、積極的に応じる
(4)製品での環境の 取組み	1	<p>■ビューティブーケ やわ肌 洗顔料 つめかえ販売開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売開始:4月10日新発売 ・容量・価格:180ml/1,566円(税込) 	<p>■本体製品の容器と比較して、プラスチック排気量 87.5%削減し環境に配慮し、本体製品(180ml/1620円(税込)よりお求めやすくなった。</p>	ECO 製品の開発を推進
	2	<p>■パーム油認証団体への加入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年1月～ 	<p>森林破壊の要員となっているパーム油を将来、認証原料に切り替えをめざし、RSPOに加入</p>	継続参加
(5)表彰	1	<p>■横浜市食の3Rきら星活動賞 (発生抑制部門)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表彰式:11月8日 ・会場:横浜市役所 ・主催:横話資源循環局 	<p>■受賞内容</p> <p>社員食堂では、食券を事前に購入することで利用者数を把握し、仕込みを始める食べ残しゼロ運動を展開</p>	食品ロスの取り組みを推進

(5)表彰		<p>■第 29 回省エネ大賞(省エネ事例部門) 「省エネルギーセンター会長賞」受賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:2 月 14 日 ・会場:東京ビッグサイト会議棟 ・事例発表:千葉工場 管理部門 ・主催:一般財団法人省エネルギーセンター ・後援:経済産業省 	<p>■受賞内容</p> <p>「統合型省エネプラットフォーム」導入によるグループ全体での省エネ活動</p> <p>工場内のクリーンルームにおけるボイラ調整工夫によって投資金額をかけずに省エネに成功した事例などを発表</p>	<p>省エネの取り組みを推進</p>
	3	<p>■第 21 回「環境コミュニケーション大賞 「環境報告書部門 優良賞」受賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:2 月 21 日 ・会場:品川プリンスホテルメインタワー 28 階「エメラルド 28」 ・主催:環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム ・協賛:一般社団法人サステナビリティ情報審査協会 ・協力:日本公認会計士協会、一般財団法人持続性推進機構 ・後援:全国中小企業団体中央会、日本商工会議所、公益社団法人経済同友会、一般社団法人日本経済団体連合会、株式会社東洋経済新報社、株式会社日本取引所グループ 	<p>■受賞内容</p> <p>「ファンケルレポート 2017」及び企業サイトでの 2030 年度の CO2 排出量目標の策定環境に配慮した製品づくりなど、先進的で豊富な取り組み事例を公開</p>	<p>環境コミュニケーションを強化</p>

(5)表彰		<p>■第2回オルタナ グリーン・オーシャン 大賞 優秀賞受賞</p> <p>・日時:3月1日 ・会場:ヒルトン東京台場 ・主催:株式会社オルタナ ・協賛:セールスフォース・ドットコム フルッタフルッタ ・エントリー:52 企業・団体</p>	<p>■受賞内容</p> <p>～20 年前から始まったファンケル独自の 環境活動～「置き場所指定お届け」サービ ス※で、CO2 削減と配送</p> <p>※「置き場所指定お届け」サービスは、不在、在宅に拘わらず、 お客様が指定した場所に商品をお届けする、受領印がいら ない配送サービス。事前に「玄関前」「ガスメーターボックス」 「自動車のカゴ」など 9 か所からお届け場所を選んでいただ き、指定された場所に配送会社が商品をお届けし、配送完了 の旨を記載した用紙をポストに入れてお知らせしてる。2017 年 8 月時点で、配送件数の 38%がこのサービスを利用して いる。</p>	CO2 削減の取り組みを推進
-------	--	---	---	----------------

「腐敗防止」に関する活動報告

本年度の活動内容			結果及び評価	来年度の活動目標																				
(1) コーポレート ガバナンス	1	■ガバナンスコードの Explain の項目を再検討 し、ガバナンス強化に 努める	【ガバナンス早見表】 2017年6月17日現在 <table><tr><th>機関設計</th><th>監査役 設置会社</th></tr><tr><td>取締役人数</td><td>15名</td></tr><tr><td>うち社外取締役</td><td>2名</td></tr><tr><td>監査役人数</td><td>4名</td></tr><tr><td>うち社外監査役</td><td>3名</td></tr><tr><td>独立役員的人数</td><td>5名</td></tr><tr><td>2016度取締役会 開催数</td><td>17回</td></tr><tr><td>取締役任期</td><td>1年</td></tr><tr><td>ストックオプション制度</td><td>有り</td></tr><tr><td>コンプライアンス規定</td><td>有り</td></tr></table>	機関設計	監査役 設置会社	取締役人数	15名	うち社外取締役	2名	監査役人数	4名	うち社外監査役	3名	独立役員的人数	5名	2016度取締役会 開催数	17回	取締役任期	1年	ストックオプション制度	有り	コンプライアンス規定	有り	
	機関設計	監査役 設置会社																						
取締役人数	15名																							
うち社外取締役	2名																							
監査役人数	4名																							
うち社外監査役	3名																							
独立役員的人数	5名																							
2016度取締役会 開催数	17回																							
取締役任期	1年																							
ストックオプション制度	有り																							
コンプライアンス規定	有り																							
	2	■開かれた株主総会、 土曜開催 ・日時:6月17日	「開かれた株主総会」をめざし、集中日を避け、株主様が出席しやすい土曜日に開催。恒例となっている総会後の懇親会では、役員、従業員が直接株主様とのコミュニケーションをとっている。株主様とのコミュニケーションツールである招集通知は、今年度からフルカラー化。役員候補者の写真を掲載し、事業報告へ製品画像・グラフを多用するなどより「読みやすく」「わかりやすく」を推進。また、招集通知の発送日を早めることで、議決権行使の検討に十分な期間を確保している。	次年度は、6月23日(土)実施予定 ※【環境】活動の株主総会も参照ください。																				

(1)コーポレート ガバナンス	3	<p>■従業員へコンプライアンス教育実施</p> <p>・研修名 ～お取引先様との共存共栄を目指して～</p> <p>・対象:業務上でお取引先様への発注行為が多く発生する部署の担当者</p> <p>・目的:適切な取引行為のおさらいとその徹底により、業務効率の向上を図る</p> <p>・日時:11月～2018年3月</p> <p>・会場:右記一覧参照</p> <p>・内容:お取引先様から寄せられたお声の紹介とケーススタディ</p> <p>・資料:独占禁止法・下請法・業務フロー</p> <p>・講師:総務部購買部門</p>	<p>各回約 20 名の受講者で、6 名のグループごとにディスカッションを実施し、社内です実際に起きた事例を検証。</p> <p>ファンケルグループでは、社内イントラネットによる情報発信から講義形式による教育まで、全従業員に対するコンプライアンス教育を実施しているが、2015年度から、法務と購買部門が協働で、より実践的な研修を教育部門ファンケル大学に提案し、実施している。</p> <p>【コンプライアンス手帳の活用】</p> <p>ファンケルグループの一員として守るべきルールを明らかにし、共通認識を持って行動するために「私のコンプライアンス行動基準手帳」を全従業員に配付。4コマ漫画とやさしい表記で、7分野・37テーマの考え方や行動をわかりやすく説明している</p> <p>コンプライアンス手帳は、新入社員・中途入社者の研修のテキストとしても活用され、従業員全員が携帯し、常に確認できる環境にある。</p>	従業員教育を推進
--------------------	---	--	--	----------

(2)お取引様 アンケート	1	<p>■お取引に関する法令順守</p> <p>お取引先さまとの共存共栄と公正で適正なお取引関係の維持を基本理念として、社長直轄の内部監査室がファンケルグループ各社における購買基本方針および下請法などの法令、コンプライアンスの遵守状況などを、お取引先さまへのアンケートを通じて毎年モニタリングを実施。</p>	<p>アンケートに寄せられたご意見は、守秘を前提に社長自ら直接報告を受け、改善が必要な問題点などは、内部監査室が調査の上、関係部署への改善是正を実施している。また、内部監査室の責任者が、書面でのアンケートだけでなく直接お取引先さまを訪問させていただき、日ごろのお取引についてご意見を承る活動も実施している。</p>	継続
	2	<p>■「CSR調達方針」策定</p> <p>・目的: 持続可能な事業の継続のため、取引先さまへ、ファンケルの調達の考え方を780社に郵送。理解を求める</p> <p>・時期: 2018年2月</p>	<p>【調達方針のポイント】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「基本方針」は、全面改訂し、「人権」「労働」に関する記載を追記 2. 「お願い」を、「行動基準」に変更する 3. 新しく「7.遵守状況の確認」を追加する 4. 発行年月を入れ、情勢に合わせ随時更新していく <p>問合せ件数: 1件 調達サイトのアクセス数が大幅増(前年比: 134%)</p>	お取引先さまの「人権」「労働」「環境」に対する取組み状況をアンケート等を通して、実施予定

(3)防災対策

	1.	<p>■神奈川県下一斉防災行動訓練「かながわシェイクアウト」に参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:9月1日 11:00 スタート ・対象:神奈川県下における4事業所、計約1,000名の従業員が参加 (本社ビル、総合研究所、ファンケル美健横浜工場他) ・目的:従業員の防災意識 防災対策及び安全確保行動を身につける 	<p>午前11時の社内一斉放送を合図に、机の下に潜るなど「身の安全を確保する行動」を実施。同訓練は県内全域の学校や職場などが、一斉に1分間安全確保行動を行う訓練で、実施5回目</p>	継続
	2	<p>■ファンケル一斉防災訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:11月17日 ・対象:本社従業員全員 ・目的:従業員の防災意識 防災対策及び安全確保行動を身につける 	<p>訓練では地域消防署協力のもと、震度6弱の地震+2次災害(火災発生など)を想定し、災害時の安全確保行動や自衛消防隊による火災初期消火・避難誘導、ケガ人発生時の搬送・救護対応、停電時の行動などを拠点ごとに確認。また各拠点の安否情報や被害情報を本社へ集約するなど、本番の災害を想定し実施した。その他、社員により構成される自衛消防隊による初期消火・AED救命訓練・はしご避難体験などを別途実施。</p>	

(3)防災対策

3

■従業員に向けて防災備蓄水「はまっごどうし」共同購入の実施

- ・日時:7月10日～28日
- ・対象:本社、総合研究所、ファンケル美健横浜、千葉、群馬、滋賀工場、(株)発芽玄米、(株)アテナ、(株)ファンケルスマイルの全ファンケルグループ従業員に推
- ・目的:従業員の家庭の防災備蓄水の見直しと災害対応力強化
- ・協力:横浜市水道局

横浜市水道局の協力を得て、防災月間に合わせて従業員向け自宅防災備蓄飲料水の特別販売を実施。毎年、お得な価格で同時期に実施することで、備蓄水の賞味期限の見直しと、家族で防災について考えるきっかけとなり好評。また、横浜市水道局の「はまっごどうし」を販売することで、ファンケルが環境保全に協力しているウィコップ活動(横浜市水道局ウォーターエコプロジェクト)の社内啓発にも役立っている。

防災に関する取り組みを推進

ステークホルダーへの COP 報告方法

自社の HP 内の CSR トピックスで、タイムリーに活動内容を紹介

【グローバル・コンパクト取り組み】<http://www.fancl.jp/csr/globalcompact/>

【CSR トピックス】<http://www.fancl.jp/csr/case/>

【人権取り組み】<http://www.fancl.jp/csr/human/>

【コーポレートガバナンス】<http://www.fancl.jp/csr/governance/>

●ファンケルの女性の管理職比率の推移、ダイバーシティの推進は、こちらをご覧ください。

<http://www.fancl.jp/csr/human/divercity.html>

●ファンケルのワークライフバランス推進、様々な休暇制度などの取り組みは、こちらをご覧ください。

<http://www.fancl.jp/csr/labor/worklifebalance.html>